

第14号  
2018年  
8月号

人と自然と大地の結びつきを学び、  
楽しむところ、それがジオパーク。



三陸ジオパーク  
Sanriku Geopark

# ★一モンくん みやこちゃんの GEO 発見新聞

今年も開催！きれいな浜はみんなの手で

## 浄土ヶ浜 クリーン大作戦！



7月14日、快晴の浄土ヶ浜で、恒例の一斉清掃活動「自然公園クリーン作戦」を行いました。

拾うのはゴミだけではなく、コンクリート片や流れ着いた黒い石なども。一つ一つ手で分けて取り除き、本来あるべき白く美しい石浜に戻していきました。

活動後は、参加者の皆さんと浄土ヶ浜遊覧船に乗って「ジオサイト船上解説会」を楽しみました。船に乘れないと間近で見ることができないジオサイト「ローソク岩」なども観察し、みんなでジオパークへの理解を深めた一日となりました。



「地下でマグマが、鏡もちのような形で固まって…」遊覧船内では、浄土ヶ浜ビジターセンターの佐藤洋太郎さんに、浄土ヶ浜の成り立ちについてお話いただきました。見慣れた海岸の景色も、4,000万年もの歴史を想うと、いつもと違って見えるものです。



宮古市内外から133名にご参加いただきました。  
美しい浜を守るには皆さんの力が必要です！



宮古市三陸ジオパーク推進協議会では、出前授業を行っています。お気軽にお問い合わせください。（宮古市観光課）



# ジオパーク活動報告



「上・右」青い幕が目印のテントでジオサイトの写真解説を展示。「左」ぱしふいっくびいなすの入港には大勢の方々が集まりました。



## おまけ



クリーン作戦中の浄土ヶ浜。ぱしふいっくびいなすと浄土ヶ浜遊覧船の、夢の競演が実現しました！

翌日15日は、ジオサイト「黒森神社」の例大祭にあわせ、神社までウォーキングを行いました。38名の参加者・ボランティアの皆さんとアジサイの咲く参道を歩き、到着後は神事を見物。氏子総代会の藤田さん・川原田さんの案内で、黒森の歴史や伝説に親しみました。

浄土ヶ浜でクリーン作戦が行われた7月14日。宮古市の藤原ふ頭ではもう一つのイベントが開催されました。5月に寄港した客船「ぱしふいっくびいなす」が、再び来てくれたのです。当協議会では、港にジオパークを紹介するテントを出して、訪れた方々に楽しんでいただきました。

**翌日は黒森ウォーク！**  
ぱしふいっくびいなす再び。



9月17日  
(月・祝)  
実施！

## 【イベントのご案内】 早池峰山に挑戦しよう！

この秋、早池峰山に登ってみませんか？

北上山地の最高峰である早池峰山は、なんと4億5,000年以上前に赤道付近にあった大地。日本列島の成り立ちを知る上で貴重な場所であるとともに、ハヤチネウスユキソウなどの固有種や希少な高山植物の宝庫でもあります。

イベントでは、ガイドが解説を行い、ジオサイト「早池峰山」をより深く知ることができます。

お申込みは下記、宮古市三陸ジオパーク推進協議会まで。



標高1,917mの早池峰山。昨年は川井中学校の生徒さんたちと登りました。



宮古市のジオサイト紹介パンフ



[www.facebook.com/Miyako.Geopark](http://www.facebook.com/Miyako.Geopark)



[www.twitter.com/Miyako\\_Geopark](https://www.twitter.com/Miyako_Geopark)



GEO発見新聞バックナンバー

